

五回目の出会い  
なぜ確信がないのか

そのあかしとは、神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません

Iヨハ5:11-12

教会に出席する人の中には“わたしは確信がない”と告白する人が以外と大勢います。口には出さなくても確信がない生き方をする信者をもっと多いようです。確信がなくて神様の御旨とは異なることに没頭する人もたくさんいます。なぜ確信がない生き方をしているのでしょうか。その答えをわたしたちは必ず見つけなくてはなりません。

## 1. 救われた者のうちにあるいのちを知らないからです。

- (1)救われた者とは、確かな知識に基づいて、イエス・キリストを心から信じ、口で告白し、自分の主人として受け入れた者を意味します。(コリ10:9~10)
- (2)イエス・キリストを救い主として受け入れた者は、自分の能力とは全然関係なくその中で聖霊が働きます。これがいのちです。(コリ2:1、Iコリ3:16、12:3)
- (3)いのち(聖霊)がない状態はどんな状態ですか。
  - ①墮落して神から離れたアダムとエバ(救いの前)の状態です。
  - ②その霊は悪魔が支配します(ヨハ8:44、使10:38)
  - ③どんなに豊かになっても平安がありません。(マク11:28~29)
  - ④何かを達成しても終りのない争いが止みません。(マク12:25)
  - ⑤本人も知らないうちに肉体は悪魔の導きと支配を受けます。(Iペ2:2~3)
  - ⑥やがて体も病むようになります。(使8:4~8)
  - ⑦精神も、心も苦しみます。(使16:16~18)
  - ⑧死んだ後には地獄が待っています。(ルカ16:19~31)

## 2. 救われた者の祝福を知らないからです。

- (1)救われた者は災いと刑罰の理由である罪から解放されます。(Iペ2:1)
  - ①原罪
  - ②自ら犯す罪
  - ③祖先の罪
- (2)救われた者はこの世の重荷と悪魔の力から即座に解放されます。(Iペ2:2)
- (3)救われた者は地獄の力から永遠に解放されます。(Iペ2:6)
- (4)救われた者は来るべき世において主の恵みを現すようになります。(Iペ2:7)

## 3. 救われた者の特権を知らないからです。(マク16:13~20)

- (1)福音伝道の特権を聖徒だけに与えてくださいました。
  - ①岩のようにしてくださいます。(聖化)
  - ②教会を建てます。(救い)
- (2)悪魔の力に打ち勝つ特権を聖徒だけに与えてくださいました。
  - ①戦いの姿勢で臨まなければなりません。(Iペテ5:8、マク4:7)
  - ②最後まで戦う姿勢が必要です。(ルカ18:5)
- (3)祈りに答えられる特権を聖徒だけに与えてくださいました。
  - ①不信者の成功は神様の計画と悪魔に許された運命の中で与えられるものです。(箴16:4)
  - ②鍵を持たなければなりません。

## 4. 救われた者の生き方を知らないからです。

- (1)不信者の生き方を考えて見ましょう。
- (2)聖徒は聖霊の導きを受けなければなりません。(ヨハ14:26~27)
  - ①心配を捨てなければなりません。(Iペテ5:7)
  - ②自分を完全に捨てる時にすべてを得ます。(ガ2:20)
  - ③隠れた私的な動機は捨てなければなりません。これは勝利の後に失敗します。神様の霊は人間にだまされません。(使5:1~10)
- (3)聖霊の導きを受けるためには
  - ①生活の中心がイエス・キリストでなければなりません。(IIコリ5:17)
  - ②生活の優先事項が祈りになることです。(使16:13、16)
  - ③生活のすべてが福音の伝道でなければなりません。(使1:8)

救われたわたしはどう変わったのか

## 六回目の出会い

## 救われたわたしはどう変わったのか

神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ばれるからです。生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。それらは彼には愚かなことだからです。

Iコリ2:10, 14

神様はその民を救うために、天と地のすべてを総動員してご計画を実行されました。神ご自身が受肉されて(ヨハ1:14)、血を流し、よみがえり、天に昇り、今も聖霊として共におられます。しかし、多くの人が救いについて誤解しています。

## 1. 間違った救い理解(救いではない)はどんなのがあるのでしょうか。

(1)「宗教を持つと救われる」と勘違いします。(ヨハ3:1~10)

宗教は人間が勝手に作ったもので福音ではありません。善を行おうとする良い目的はありますが、救われてない者(罪人)は善を行うことができないし、霊的に死んでいる者の善は善になれません。(海賊船に乗った人のすべての行動は海賊行為のための行動に利用されます)

(2)「洗礼を受けて、教会に通えば救われる」と思い込んでいます。

しかし、それはむしろマ12:43~45でイエス様が語られた通りに、何の効果もない苦みの重荷を背負うだけです。

(3)「熱心が救いの尺度である」と誤解しています。

ファリサイ人の熱心さを知っていますか。仏壇に供える人々の熱心さを知っていますか。その熱心のもたらす結果は、虚無であり、失敗(失望)です。

(4)「信念(哲学)を確かなものにすれば救われる」と思っています。

間違った信念は描いた理想とは大きくずれた結果をもたらし、一人になった時、自ら失敗を認めざるを得ません。

(5)「お経を覚えたり、呪文を唱えて祈ると救われる」と信じています。

こういうものは全部外的な、一時的な変化に過ぎず、決して内的な、完全な変化ではありません。イエス様は疲れて苦しんでいるすべての宗教人に向かって解決策を宣言し、招いておられます(マ11:28~30)。

## 2. 「救われた」というのはどういう状態ですか。

(1)内的(霊的)変化が起こることです。

なぜイエスのみが道なのか

## 3. 救いはただ一人。(使4:12)

(1)悪魔の力に打ち勝つ権威をもつ方でなければなりません。

(2)必ず人間でなければなりません。(ヨハ1:1, 14)

(3)しかし、罪があってはなりません。(ヘブ4:15, Iペテ3:18)

(4)アダムの血を受け継ぐ子孫であってはなりません。(処女降誕)

(5)罪の代価として、罪のない人間が死ななければなりません。(創2:17)

(6)死に打ち勝ち、必ず復活しなければなりません。(Iコリ15:3~6)

(7)その方がイエス・キリストです。

(8)神様と同一の本質であるイエス(ヘブ12:6~9)のみが悪魔の働きを滅ぼし、人間を救い出すことができます。

(9)実際、証明されています。(使16:16~18)

## 4. 救いとは何でしょうか(Ⅰペ2:1~6)

(1)必ず滅ぼされる罪から解放されたことです。

①原罪—永遠に呪われる罪(Ⅰペ2:1)

②自ら犯す罪—原罪の結果として現われる咎(Ⅰペ2:1)

③祖先の罪—偶像崇拜の結果、子孫に災いが臨む(出20:4)

(2)現在、悪魔の力とその運命から抜け出すことです。(Ⅰペ2:2)

(3)来る世で天の御座につくことです。(Ⅰペ2:6)

(4)現実の中でしるしが現われます。(Ⅰペ2:7)

\* Iヨハ3:8を理解して見ましょう。

なぜイエスのみが道なのか

四回目の出会い

## なぜイエスのみが道なのか

罪のうちに歩む者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。

Iヨハ3:8

## 1. 多くの人が福音と宗教の区別ができません。

- (1)すべての宗教は同じであると思っています。
- (2)善を行うのがすべての宗教の目的だと思っています。
- (3)良い行いを通して、徳を高めるのが救いの道だと思っています。
- (4)キリスト教は宗教ではなく、いのちそのものです。
- (5)宗教は人間が作り、福音は神様から与えられたものです。
- (6)宗教は人間が神様を探し求めています、福音は神様が人間を探しに来られたのです。
- (7)宗教は人の行為が基準ですが、福音は神様の救いが基準です。

## 2. 救われてない状態がどんなものであるかを知らないからです。

- (1)原罪は救われてない状態です。(ロ7:10, 23)
- (2)それは創世記3章に記されている、人間世界に現われた悪魔の手に掌握されたままの状態です。(Iペ2:2, 3)
- (3)滅びの状態は恐ろしい状態です。
  - ①その霊が悪魔に支配されている状態です。
  - ②呪われている状態です。
  - ③それで偶像崇拜、祖先供養、厄払い、占い、迷信、守り札などに頼りますが、苦難の中で滅んで行きます。(ロ1:21~23)
    - 現在の生活に失敗して世を去ります。
    - 三代、四代まで滅びます。(出20:4~5)
    - 精神的な病、悪霊につかれた病、病名もない原因不明の病で苦しみます。(マ8:16~17)
  - ④結局は地獄に行く運命です。(ル16:19~31、黙14:1~9)

救われたわたしはどう変わったのか

- (2)救われた者の中に聖霊が内住し、導くようになります。
- (3)聖霊はいのちであり、水と聖霊によって生まれなければ神様の国に入れません。(ヨハ8:2, ヨハ3:3~5)
- (4)この真理の霊である聖霊はだれも追い出せないし、自ら離れもしません。(ヨハ14:16~17)
- (5)聖霊の内住を悟ると
  - ①聖霊が救いを成し遂げて、律法を成就します。(ヨハ8:2, 4, 9)
  - ②神様の御旨、祝福、恵みを知るようになります。(Iコリ2:10~14)
  - ③わたしたちが神様の宮であることが分かります。(Iコリ3:16)
  - ④聖霊がわたしたちの過ちを正してくださいます。(ガ5:16~18)
  - ⑤弱いわたしたちを導いてくださいます。(ヨハ14:26~27)
  - ⑥平安が与えられます。(ヨハ14:27)
  - ⑦わたしたちの祈りを執り成してくださいます。(ヨハ8:26)
  - ⑧すべてが共に働いて益となります。(ヨハ8:28)

## 3. どうすれば救われますか。

- (1)わたしがイエスの中にとどまることが、イエスのいのちがわたしの内にあることです。
- (2)それは水と聖霊とによって生まれる(上から生まれる)という意味です。
- (3)方法はただ一つしかありません。(ヨハ3:14~16)

## 4. いのち(聖霊)を持つ者に起こる四つの変化

- (1)霊的に戸籍が変わります。ヨハ8:44 ⇒ Iヨハ3:2(ヨハ5:24)。
- (2)身分が変わります。ヨハ6:17 ⇒ ヨハ6:22
- (3)霊、肉、生活の状態が変わります。Iペ2:1 ⇒ Iペ2:5
- (4)導き手が変わります。Iペ2:2 ⇒ ガ5:18

## 5. 神様はいのちある者をどうされるのですか。

- (1)最後まで捨てずに導き、聖なる姿に変えていきます(聖化)。(ヨハ14:16, 26, ガ5:16~18)
- (2)だれもこのいのちを持つ者を滅ぼすことは出来ません。(ヨハ8:31~39)

これからどう始めればいいのか

## 七回目の出会い

これからどう始めればいいのか

わたしはもう世になくなります。彼らは世にいますが、わたしはあなたのみもとにまいります。聖なる父。あなたがわたしに下さっているあなたの御名の中に、彼らを保ってください。それはわたしたちと同様に、彼らが一つとなるためです。わたしは彼らといっしょにいたとき、あなたがわたしに下さっているあなたの御名の中に彼らを保ち、また守りました。彼らのうちだれも滅びた者はなく、ただ滅びの子が滅びました。それは聖書が成就するためです。

ヨハ17:11, 12

救われたあなたとわたしは霊的に完全な解放と自由を得ました。これからこの世で生きている間、どのように生きればいいのかのでしょうか。

#### 1. この世の終り(裁きの日)まで悪魔が存在していることを深く、そして実際に知り、気を付けなければなりません。

- (1)地上に存在する本の中で、悪魔の本当の陰謀を暴露したのは聖書のみです。
- (2)約束通り、その悪魔の頭は既に打ち砕かれました(創3:15)。死にながらあがいているだけです。(Iペテ5:8)
- (3)悪魔が完全に縛り上げられる日がこの世の終りの日です。(マ25:41)
- (4)しかし、油断してはいけません。悪魔は汚れた霊や惑わす霊、偽預言者の霊、異端の霊、悪霊などを使って信者の生活を失敗させようと必死です。
- (5)家庭を破壊しようとします。(マ12:25)
- (6)不信仰な者、確信がない者を探し回ります。(Iペテ5:7~8)
- (7)一度譲ってしまえば、七倍の力で攻撃して来ます。(マ12:44~45)
- (8)様々な患い(難病、名も知らない病)をもたらします。(マ8:15~17)
- (9)精神的に混乱をもたらします。(マ5:1~10、使16:16~18)
- (10)確信ある者を避けます。(マ4:7)
- (11)水がない所、休む場所を探しています。(マ12:43~45)
- (12)特に、空き家を狙います。(マ12:45)
- (13)常に祈りをもって勝利しなければなりません。(Iコ6:18)
- (14)祈ることと聖書を知ること一番嫌います。(Iテ5:16~18)
- (15)霊とまことによる礼拝が一番嫌います。(マ4:8~11)
- (16)主日を守り、伝道することを恐れます。

どうすれば神様に会えるのか

- (4)イエスは全き神性と全き人性をもつ方です。(ヒリ2:5~8)
- (5)イエス・キリストを自分の救い主として受け入れるのが神様に会える唯一の道です。(ヨハ1:12、黙3:20、使4:12)
- (6)イエス・キリストを受け入れる時に、聖霊が私たちの霊の上に臨まれます。これが救いです。(ヨハ14:16、26~27)
- (7)この時、悪魔の力は永遠に離れるようになります。
- (8)イエス様を心から受け入れる祈りをささげましょう。

#### 4. 神様がわたしと共におられるしるし

- (1)聖霊がわたしの内で働かれると、毎日聖なる生活へと導かれます。(ヨハ14:26~27)
- (2)聖霊の導きの中で、聖書を通して、神様の正しい御旨を知ようになります。
  - ①聖書は生きているみことば(ヘブ4:12)
  - ②主からの教えに聞き従う時に、わたしの霊は生きる(詩119:25)
- (3)罪を解決する時、聖霊の導きを受けますようになります。(詩66:18、ガ75:16~18)
- (4)神様に切に、時間を決めて、題目を決めて、祈り続ければ力を受けます。
- (5)わたしたちを逃がしてしまった悪魔は惑わす霊、悪霊を動員し、わたしたちを邪魔しようと必死です。だから聖霊に満たされることが常に必要です。(Iコ5:18)
- (6)聖霊に満たされると力が与えられます。(使1:8)
  - ①自分自身に対して
  - ②世に対して
  - ③悪魔に対して
- (7)伝道の門が開かれます。
- (8)神様が生きておられるというしるしが生活全体に現われます。
- (9)ヨハ14:16が理解できていますか。

どうすれば神様に会えるのか

三回目の出会い

## どうすれば神様に会えるのか

イエスは彼に言われた。「わたしは道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

ヨハ14:6

## 1. 神様は霊です。

- (1) 霊であるので肉眼では見えません。
- (2) 霊であるゆえにだれによっても、何によっても制限されません。  
人の手によって制限されるのは神様ではなく偶像であり、それを通して悪霊が働くのです。(Iコリ10:20)
- (3) 霊であるのでどこにでもおられます。(しかし、すべてが神様だという意味ではありません)
- (4) 全知です。
- (5) 全能です。
- (6) それゆえヤハウエー(主)と言います。(出3:15)
- (7) 人間は霊的存在であるので、霊である神様に会うのが救いです。(イザ40:18~31)

## 2. しかし、人間は肉であるゆえに。

- (1) 神様を見ることができません。
- (2) 人間の霊は肉の中に制限されています。
- (3) 肉から霊が離れるのが死です。
- (4) 肉を持っているときにのみ救いのチャンスが与えられます。(肋16:19~31)

## 3. 救われなければ神様に会うことはできません。

- (1) 霊である神様が人間を救うために、人間となられ、この世に来られました。(ヨハ1:14)
- (2) この方は罪がなく、その霊は神御自身です。(Iコリ15:45)
- (3) この方がイエス・キリストです。(マ16:16~20)
  - ① メシア(キリスト)ー救い主、神様
  - ② 生ける神の子ー人間となられた神様

これからどう始めればいいのか

## 2. ですから次の五つのことを常に覚えて生活化しなければなりません。

- (1) イエス・キリストを正しく、深く知ることです。(イザ53:5、IIIヨハ1:2、Iヨハ3:8)  
悪魔はイエス・キリストの名の前では何の力もありません。
- (2) 聖書に啓示されている三位一体の神の力を信じる信仰が強くならなければなりません。(ヨハ3:16)
- (3) イエス・キリストを心の中心に、家庭の中心に、職場の中心に受け入れる祈りと信仰を常に持つべきです。
- (4) イエス・キリストの御名と力を認め、現し、あかしすることが生活の中心になれば勝利します。(マ10:9~10、マ10:32~33、16:13~18、使2:21)
- (5) イエス・キリストがあなたの主人になれば、聖霊の力があなたの能力、環境、知性、背景と関係なく働きます。(使1:8)

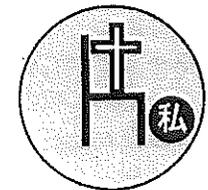
## 3. 絵をよく見てあなたは今どこにいて、またどこに在るべきかを確認しましょう。



生まれながらの人



肉に属する者



霊に属する者

- (1) キリストを中心に受け入れ、悩み、問題、罪の重荷を下ろしましょう。
- (2) キリストを中心に受け入れ、固執を捨てなければなりません。
- (3) キリストを中心に受け入れ、心配(否定的な空想)を捨てなければなりません。
- (4) キリストを中心に受け入れ、経験を先立たせてはいけません。
- (5) キリストを中心に受け入れ、先入観を持つてはなりません。

\* あなたの中におられる聖霊様は完全なるお方です。

## 八回目の出会い

## 神様の力はいつ現われるのか

イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

マテ28:18~20

自分がだれであるかを熟知し、イエス・キリストがだれであるかを熟知する時、神様の力と祝福を実際的に体験できます。それは人間がどこから来て、何をして、どこへ行くのかを知るときから始まります。

## 1. まず、七つの事実を確かになければなりません。

- (1)元来、人間は神にかたどり、神に似せて創造され、神様と共にいる時平安であるように創造されました。(創1:27)
- (2)しかし悪魔によってそのかたちが暗くなり、その霊は死んだ状態になりました。(創3:1~10, Ⅰペ 2:1~2, ヌハ8:44)
- (3)それ以来、失敗、死、苦しみが絶えず続きます。(創3:11~20)
- (4)この世では旅人として生き、永遠の住まい(天国・地獄)へ行きます。(ルカ16:19~31)
- (5)神様は人間に神様のかたちを回復させるために、神様の力をもって悪魔の業を滅ぼすためにこの世に来られました。(Ⅰ ヌハ3:8)
- (6)イエス・キリストは真の神であり、真の人間です。(ヨハ1:14 ビリ2:6~10)
- (7)イエス・キリスト(いのち)を受け入れる時にすべての問題は解決されます。(マテ11:28)

## 2. いまから三つの戦いを始めなければなりません。

- (1)自分自身との戦いです。(ヨハ8:32)  
「そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」
- ①わたしの環境を主に委ね、主の計画を見つけなければなりません。
- ②わたしの思いより、完全なる神様の御旨を求めることです。(マテ6:9~10)

(6)人間は原罪が何であるかを知りません。

## 3. 救われなければ神様に会うことはできません。

- (1)まず救われなければ神様を知ることはできません。(ヨハ17:25~26, 14:8~9)
- (2)生まれ変わらなければ神様を見ることもできません。(ヨハ3:3~5)
- (3)即ち、救いというのは悪魔の支配から解放されることです。(Ⅰ ヌハ5:18)
- (4)救いというのは罪の支配から解放されることです。(Ⅰペ 8:1~2)
- (5)救いというのは地獄の力から解放されることです。(Ⅰ コリ15:55~57)
- (6)地獄は悪魔とその子どもが行くところです。(マテ 25:41)
- (7)天国は神様の子どもが行くところです。(ヨハ14:1~3)

## 4. 死んだ人が動けないのと同様に、死んだ霊は努力しても無駄です。

- (1)救われてない人の努力は外的変化に過ぎません。(ヨハ6:63)
- (2)その努力は良いものですが、救いに値するものではありません。
- (3)地にあるものの中には天国を得るに値するものは存在しません。

## 5. なぜ人間の努力では救いを得ることができないのでしょうか。

- (1)自分の努力で霊を生かすことはできません。
- (2)人の助けによってでも霊を生かすことはできません。
- (3)この世の支配者、悪魔に打ち勝つ英雄はこの世に現われたことがありません。(使4:12)
- (4)救いは神様の恵みです。(Ⅰペ 2:8~9)

## 二回目の出会い

## なぜ人間は神様に会えないのか

この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。

使4:12

人間が不幸なのは神様から離れているからです。神様を離れた生活が、不幸をもたらしているのです。それを言い替えば、神様に会えば人間は幸せになれる、ということの意味します。問題は人間が神様に会えないということです。なぜ人間は神様に会うことができないのでしょうか。

## 1. 神様から離れているから

- (1)霊的に死んだ状態です。(Ⅰコ 2:1)
- (2)これは神様の霊が人から離れたということです。
  - ①元々、人間には神様の霊が共にいました。(創1:27)
  - ②墮罪以来神様の霊が離れ、霊的に死んだ状態になりました。
  - ③神様の霊が離れて悪魔の霊が人間の霊を支配するようになりました。(Ⅰコリ2:12)
- (3)知識、知恵までもが暗くなり、神様の御旨がわからなくなりました。(Ⅱテサ2:9~11)
- (4)それゆえ、神様のことばを聞いても悟ることができません。(Ⅱコリ4:4~5)

## 2. 人間は神様に会うために努力しています。

- (1)人間には霊があるので神様を求める本能があります。
 

—しかし、神様への本当の道が分からないので—
- (2)忠実であれば神様に会えると思っています。(Ⅰザ 64:5)
- (3)宗教生活をすれば会えると思い、自分が好きな様々な宗教に走っています。(マタ 12:43~45)
- (4)哲学(理性、知性)をもって神様に会おうとします。(Ⅰコ 2:8~9)
- (5)釈迦はこう言いました。
 

何時爺蘇来 吾道無油之燈也 (ナマダ経38-8)

いつの日か、イエス来られると、わたしの悟った道は油なき燈に等しい

- ③わたしの計画より神様の計画が完全であることを信頼するべきです。(Ⅰザ 55:8~9, Ⅰマタ8:28~29)
- ④わたしの固執と考えは益になりません。(マタ15:18~20)
- ⑤自分を完全に主に委ねなければなりません。(Ⅰコリ2:20)
- ⑥真理はイエス・キリストであり、主は聖なるお方です。ですから聖別された生活はわたしを完全な自由へ導きます。

(2)終りの時が近づくにつれ最後のあがきをする悪魔と戦わなければなりません。

- ①わたしの力では出来ませんが、イエスの権威によって出来ます。
  - ②神の子となったということは力です。(ⅢⅠ1:12)
  - ③天と地においての一切の権威をイエス・キリストは持っておられます。(マタ28:18)
  - ④主の権威の前では汚れた霊も従います。(マタ1:27)
  - ⑤神の子イエス・キリストが現われたのは悪魔の働きを滅ぼすためでありま  
す。(ⅠⅢⅠ3:8)
  - ⑥祈りに答える力も主にあります。(ⅢⅠ16:24)
- (3)この世と戦わなければなりません。  
必ず、聖霊の導きを受けなければなりません。
- ①いつまでも共におられる助け主(ⅢⅠ14:16)
  - ②すべてのことを教え、主の約束を思い起こさせる聖霊(ⅢⅠ14:26)
  - ③キリストによって注がれた油がすべてを教える(ⅠⅢⅠ2:20~27)
  - ④神の霊が臨まれると、そこが天の国(マタ12:28)
  - ⑤力を受けます。(使1:8)

## 3. 神様の力はいつ現われますか

- (1)神様の子となり、原罪が解決された時から既に祝福は始まりました。
- (2)キリストの名によって罪を解決しようとする時、神様の力は現われます。
- (3)苦難、迫害、病、挫折の中から神様の計画を見つけましょう。
- (4)自分の人生において神様の目的を見つけなければなりません。
- (5)自分が置かれた状況、立場から神様のもっと大きい御旨を悟りましょう。
- (6)それらを握って、それらのために祈る時に神様の力が臨みます。
- (7)イエス・キリストのみで満足できるときに勝利することが出来ます。

## 九回目の出会い

## 祈りは霊的な科学です

してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良いものを与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありますか。

ルカ11:5-13、ルカ18:1-8

神様は全能です。わたしたちの祈りを聞いて答えて下さいます。罪人が神様に要求することができないので、罪なきイエスの名によって祈れば、わたしたちの祈りに答えて下さるのです。(ヨハ16:24)

## 1. 不信者の祈りはなぜ答えられるのでしょうか。

- (1)すべての宗教はみな祈り文を持っているか、祈りの形式を持っています。
  - ①動物を拜むのになぜ答えられているのですか。
  - ②岩、大木などに供え物を捧げ拜むのになぜ答えられているのですか。
  - ③紙、絵、写真などに祈るのになぜ答えられているのですか。
  - ④仏壇、神棚、手でつくったある形(偶像)、水晶の玉などに祈ると答えられるのはなぜでしょうか。
  - ⑤他の特殊な宗教団体の指導者たちにしるしが現われるのはなぜでしょうか。その答えは1コリ10:20とマタ24:11に示されています。
- (2)不信者たちは祈ればとにかく答えられます。良いものであれ、悪いものであれ、いったん目の前の欲は満たされますが、結局、もっと大きく失敗します。
- (3)神様の子供には神様が次の三つの方法で答えて下さいます。
  - ①祈った通りにすぐ答えて下さいます。
  - ②損になるか、不要なものは与えません。これが答えです。
  - ③もっと良いもの(ほかのもの)をもって答えて下さいます。それは神様がその民を祝福しようとするからです。

## 2. 神様に答えられる者の資格があります。

- (1)ヨハ1:12 必ず神様の子ども
- (2)ヨハ16:24 イエス・キリストの名によって祈る
- (3)詩66:18 罪を悔い改めることによって

## 4. なぜこの不幸はなくなるのでしょうか。

- (1)不幸をもたらす者がいます。
- (2)その名前は
  - ①悪魔(サタン)
  - ②悪霊(惑わす霊)
- (3)いつから現われたのですか。
  - ①み使いが天から墮落しました。(イザ28:14~19)
  - ②空中に追い出されました。(イハ2:2)
  - ③この世に現われて人間を滅ぼします。
  - ④結局は地獄に投げ込まれます。(マタ25:41)

## 5. 神様を知らなければどうなりますか。

- (1)ヨハ8:44—悪魔のこども
- (2)使10:38,8:7~8—悪魔に縛られている
- (3)マタ12:26~28—幸せがない
- (4)マタ11:28—心の安らぎがない
- (5)使8:4~8—肉体的な苦しみ
- (6)使16:16~18—精神的な苦しみ
- (7)ルカ16:19~31—死後地獄へ

## 6. この世で人や物によって得られる平安はしばらくの間だけです。

- (1)この世的なものです。
- (2)肉体的なものです。
- (3)快楽的です。
- (4)もっと大きな不幸をもたらします。

\*あなたは人生の本当の目的を知っていますか。

\*あなたの問題はどうすれば解決できますか。

## 初めての出会い

## なぜ人間には幸せがないのか

すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず  
 ロマ3:23

誰でも幸せになりたい、という願いはお持ちですが、この世の多くの人、苦しんだり、悩んだりしています。人々は家庭、健康、経済的な問題、将来への不安、精神的な問題など様々な問題によって悩まされています。そして、そのようなことから逃れたい、満たされたいとお酒やギャンブル、快楽、薬などに走るのです。けれども、結果的にはもっと不幸な状態に陥っている人がどんなに多いことでしょうか。なぜでしょうか？

## 1. 人間が神様から離れているからです。

- (1)神様に背いて神様を知る事ができなくなりました。(ヨハ10:10、マ3:23)
- (2)その結果、罪に陥るようになりました。(マ3:10)
- (3)罪によって人間の苦しみは始まりました。
  - ①精神的な苦しみ(マ11:28)
  - ②生活の意味がなくなり、バランスが崩れてしまいます(マ12:25)
  - ③体の病気に悩まされます(使8:7~8、マ8:16~17)
  - ④すべては霊的なところに根本的な原因があります。
- (4)この罪意識や苦しみを解決するために、人々はあらゆる宗教や人間の努力に依存するようになりました。

## 2. この不幸がいつ始まったのかを聖書は教えてくれます。

- (1)人類の最初の祖先であるアダム、エバから始まっています。
- (2)原因(創3:1~15)
- (3)結果(創3:16~19)

## 3. この不幸はいつまで続くのでしょうか。

- (1)いまでも続いています。(イハ 2:1~2)
- (2)増加する一方です。(マ11:28~29)
- (3)解決しようとするればするほどもっと深刻になります。(マ12:43~45)

- (4)ルカ11:5~12 信仰をもって祈る
- (5)ルカ18:1~8 最後まで忍耐をもって祈る
- (6)ルカ14:6~7 考え、思い、知恵を与えて答えて下さる

## 3. 神様の子どもは祈るときに注意することがあります。

- (1)「わたしの思い通りに」ではなく、「神様の全き御旨通りに」
- (2)「わたしの計画通りに」ではなく、「神様の大きいなる計画通りに」
- (3)「わたしの環境を」ではなく、「神様の隠れた計画を」
- (4)敵に「報酬する心で」ではなく、「赦す心で」
- (5)神様の御旨に従おうとする心でなければなりません。

## 4. 祈りは霊的な科学です。

- (1)祈れば聖霊が働かれます。(ルカ11:13、マ12:28)
- (2)聖霊が働かれると必ず悪霊の力が縛られます。(マ12:28~29)
- (3)聖霊が働かれると神様の天使たちが遣わされて主のわざをなします。
  - ①ヘブ 1:14
  - ②黙8:3~5
  - ③ダニ 10:10~20
- (4)その時から周りの環境が変わり始めます。(イハ14)
- (5)答えとして、人を送ってくださいます。(使10:1~19)
 

①創18:2~15(アブラハム)	②イ列19:5~7(エリヤ)
③Ⅱ列6:13~17(エリシャ)	④Ⅱ列20:1~10(ヒゼキヤ)
⑤使1:10~11	⑥使5:19~20, 10:1~4, 12:1~10
⑦黙1:1~20	

十回目の出会い

## 祈るとなぜいやされるのか

それから、イエスは、ペテロの家に来られて、ペテロのしゅうとめが熱病で床に  
 いているのをご覧になった。イエスが手にさわられると、熱がひき、彼女は起きてイ  
 エスをもてなした。夕方になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、みもとに連れ  
 て来た。そこで、イエスはみことばをもって悪霊どもを追い出し、また病氣の人々を  
 みなお直しになった。これは、預言者イザヤを通して言われた事が成就するため  
 だった。「彼が私たちのわずらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。」

マコ16:14-17

イエス様は病人をいやしながら福音を伝えました。使徒や初代教会の聖徒たちも  
 いやしと福音伝道を並行しました。マルコ16:15~20でイエス様は確かな約束を与  
 えてくださいました。

## 1. 聖書にはいやしの約束があります。

- (1)「…そして、さわった人々はみな、いやされた。」(マコ16:56)
- (2)「彼がわたしたちのわずらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。」(マコ16:14~17)
- (3)「…彼の打ち傷によって、わたしたちはいやされた。」(イザ53:5)と約束されて  
 います。

## 2. まず、病の原因を診断しなければなりません。

- (1)過労、あやまち、伝染による病、老化による病もあります。
- (2)しかし、聖書が明らかにしている三つの原因による病は、とても重要であっ  
 て、人間の方法では治せない病です。

## ①罪による病

## (a)祖先の罪

偶像崇拜は三代、四代まで至る病をもたらします(出20:4~5、Ⅱサ12:15)。  
 これは病名も分からないし、医術では不治の病と診断されます。

## (b)原罪

その霊が呪われている状態なので治療が不可能です(創3:16~19)。一時的  
 ないやしは可能であるが、根本治療が不可能です。

## (c)自分の罪による病(Ⅱ列5:27、Ⅱ歴21:12~19、Ⅰコ5:5)

## 目次

	4
初めての出会い	なぜ人間には幸せがないのか
	6
二回目の出会い	なぜ人間は神様に会えないのか
	8
三回目の出会い	どうすれば神様に会えるのか
	10
四回目の出会い	なぜイエスのみが道なのか
	12
五回目の出会い	なぜ確信がないのか
	14
六回目の出会い	救われたわたしはどう変わったのか
	16
七回目の出会い	これからどう始めればいいのか
	18
八回目の出会い	神様の力はいつ現われるのか
	20
九回目の出会い	祈りは霊的な科学です
	22
十回目の出会い	祈るとなぜいやされるのか

‘わたしは一体誰であり、どこから来てどこへ行くのか。’この問の解かれない答えを得るために、数世紀の間、多くの人々は絶えず、最善を尽くして努力して来ました。それにも関わらず、わたしたちの人生は苦難と苦しみがか後を絶たず、人間の力では解決できない予測不可能の事件事故によって日々厳しくなっています。もし、あなたも、次のような問題によって苦しんでいた、悩んでいた、はしませんか。

- 理由が分からない災いと失敗が続く方
- 人生を意味を失い、すべてが空しい方
- 幻覚、幻聴、精神病、ノイローゼ、神経性疾患、病名も知らない病気などで苦しんでいる方
- 未来の運命を知らないゆえにいつも不安を感じる方
- 肉体的な快楽を楽しんで見るものの、平安がなく、空しい自分に耐えられなくて苦しい方
- 家庭不和で家出をしたくなったり、不安、焦りで自殺衝動を感じる方
- 願ってはいないけど、仕方なく霊媒師や占い師をやっている方
- アルコール、麻薬、習慣性医薬品をやめられなくて悩んでいる方

このような苦しみと苦痛の中にいらっしゃる方々に解決の道を伝えるためにこの書物を出版します。

毎週に一回、または一日に一回、個人的に、または小グループ中心にみ言葉を分かち合ってください。あなたの多くの問題が徐々に消えて行くことがわかるようになります。

主の大いなる恵みがあなたと共にありますように。

②悪魔(悪霊)がもたらす病

(a)精神(マテ5:3~15)

(b)心(Ⅰペ4:23~27)

(c)環境(マテ12:25~28)

(d)神経(マテ9:17、ルカ13:16)

③神様のご計画がある病(Ⅱコリ12:7、ダニ8:27)

3. 間違った治療法はもっと悪い結果を招きます。

- (1) 医術、薬のみに頼ること
- (2) 肉体的な結果のみを期待すること
- (3) 宗教的な方法…迷信、占いなどに頼ること

4. 正しいいやしの順序を知らなければなりません。

(1) まず、霊的ないやしが必要です。(Ⅲヨハ1:2)

①受け入れ(ヨハ1:12)

②聖霊充滿(Ⅰペ5:18)

(2) 罪を断ち切らなければなりません。(マテ13:13~16)

(3) 環境を正しくする必要があります。(マテ12:25~29)

(4) 物理的な治療はこの後から行います。(マテ13:13~14)

5. いやしの後も重要です。

(1) 信仰を持ち続けなければなりません。

(2) 感謝の心や生活を必ず回復しなければなりません。

(3) 証しする生活が必要です。

# 福音の手紙

すべてのクリスチャンが一番やさしく伝えられる福音のメッセージ

## 福音の手紙

第1版 1刷 発行 2013年 2月 1日

著者 柳光洙

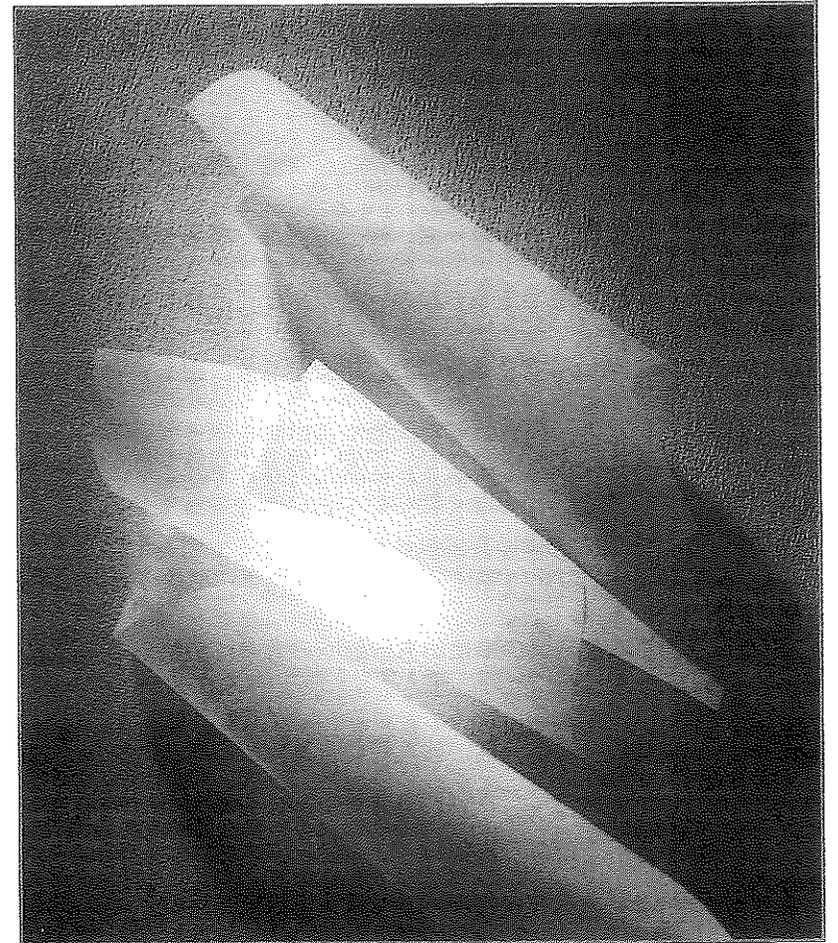
出版 社団法人 世界福音化伝道協会

住所 157-836 ソウル市江西区登村2洞534-3 宣教ビル

電話 +82-2-3662-7661

FAX +82-2-3662-7149

ホームページ [www.wedarak.net](http://www.wedarak.net)

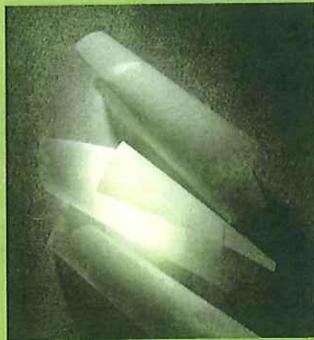


図書出版 生命



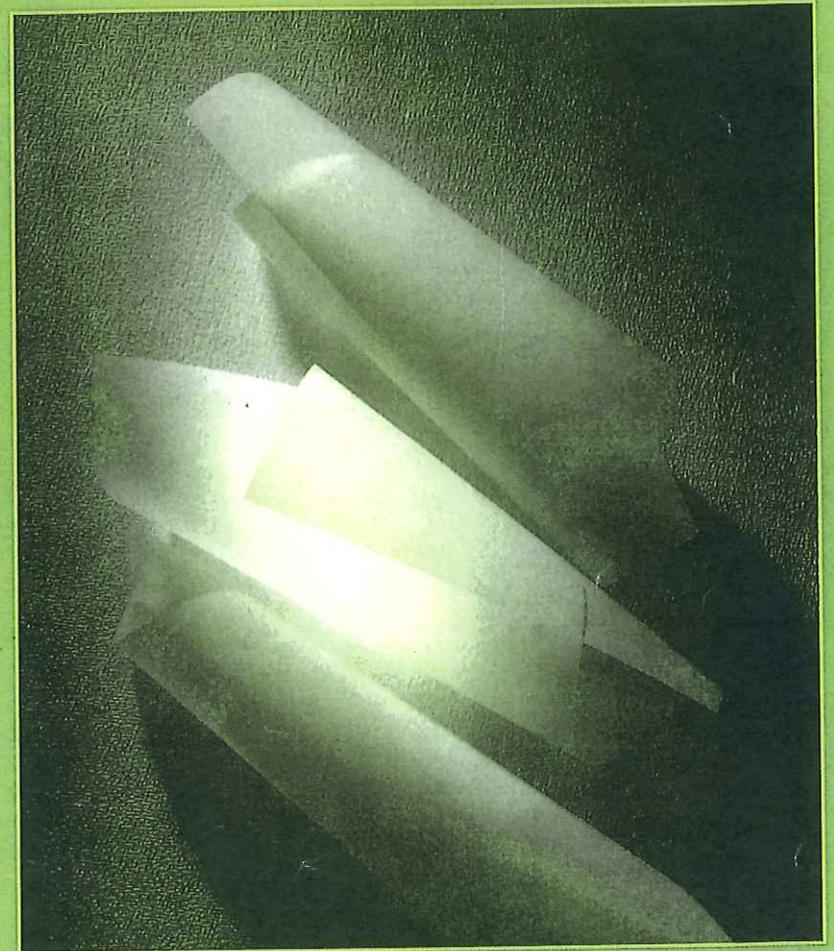
# 福音の手紙

すべてのクリスチャンが一番やさしく伝えられる福音のメッセージ



福音の手紙

連絡先



図書出版 生命